

部活動における体罰低減を目指して

—健全な日本のスポーツの発展のために—

四国大学 大野ゼミB

○ 榊原 凧 坂田 海斗

富永 紘生 藤本 健太



①緒言

～現状把握・問題意識

②研究の方法・結果

～課題の定義・仮説

～調査分析

～仮説検証

③提言

～政策オプション・期待効果

④まとめ



①緒言

①その前に、



今年の甲子園見ましたよね？

①その前に、



気温 37 度の炎天下での試合

これも、一種の体罰ではないか

体罰は、
日常に存在する

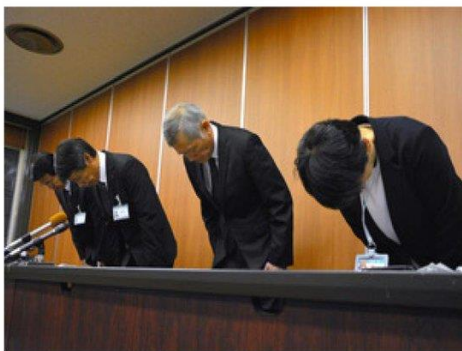


朝日新聞
DIGITAL

ミスをした生徒に罰則を与え、生徒が熱中症に

部活顧問「校舎の周り80周走れ」 男子生徒が熱中症に

真田嶺 2018年7月14日12時19分



経緯を説明し、謝罪する大津市教育委員会の船見順教育長（左から2人目）や南郷中の木塚聡明校長（右から2人目）ら=大津市

大津市教育委員会は14日、同市赤尾町の市立南郷中学校（木塚聡明校長）で、男子ソフトテニス部所属の中学2年の男子生徒（14）が同部顧問の男性教諭（31）に「校舎の周囲を80周走れ」と指示され、脱水症状を起こして救急搬送されたと発表した。木塚校長は「一步間違えば生死に関わる理不尽な指導だった。心からおわび申し上げたい」と話した。

市教委によると、12日午後の部活動の練習中、サーブミスが目立ったペナルティーとして、教諭が1周約230メートルの

校舎の周りを走るよう指示。教諭が「何周走るんだ」と尋ね、生徒は「4周」と答えたが、「それではあかん。80周走れ」と指導したという。

生徒は午後4時半ごろから走り始め、9周目に敷地内で倒れた。工事業者が見つけた救急搬送された。脱水症状を起こしており、熱中症の診断を受けたが12日夜に退院。自宅で静養しているという。男性教諭は現在、自宅謹慎している。12日夕の大津市は気温が30・1度だった。（真田嶺）

行き過ぎた指導



身体への障害の原因に

⇒ 明らかな体罰



全日本クラスでも、日常的に起きている体罰

8/31(金) 11:00配信

東洋経済
ONLINE



コーチからの暴力を巡る問題で、記者会見する体操の宮川紗江選手(右) =8月29日午後、東京都内 (写真:共同通信)

今年に入って何度目のスポーツ団体に関する騒動でしょうか。7月11日に日本体操協会へ「速見佑斗コーチ(34歳)の暴力行為に関する通報」が入ってから約2カ月弱。8月29日に行われた宮川紗江選手(18歳)の会見が物議を醸しています。

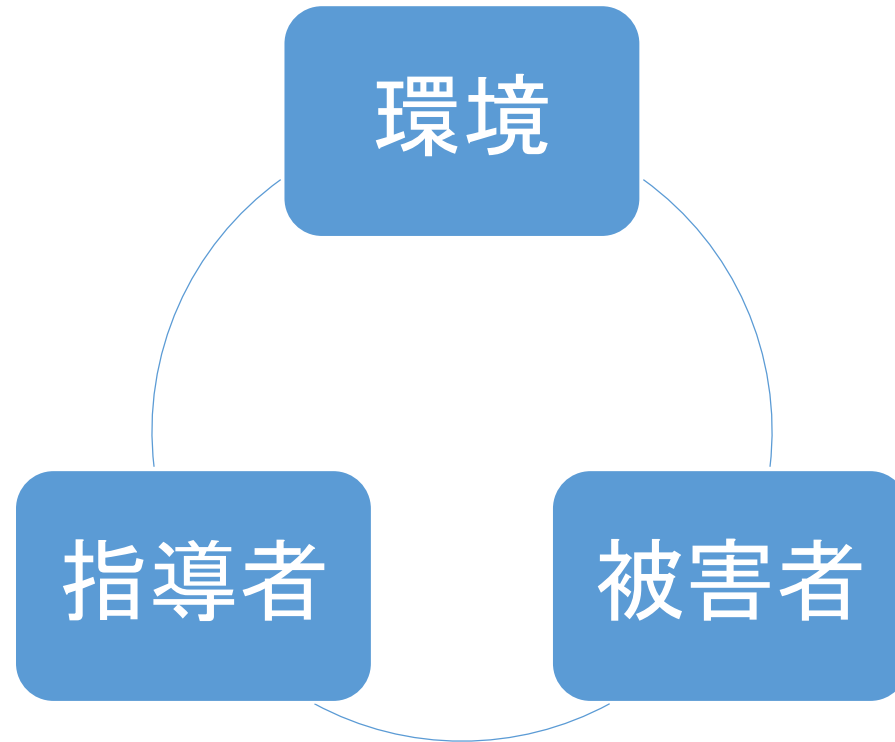
通報後、日本体操協会はパワハラの実事確認をはじめ、速見コーチへの聞き取り調査を実行。速見コーチはパワハラの実事を認めて反省の意を表しました。日本体操協会は理事会を開いて速見コーチの処分を決議し、8月15日に「無期限登録抹消」などの

懲戒処分を発表。「騒動も一件落ち着いたか」と思われたところ、21日に宮川選手が代理人弁護士を通して文書でパワハラを否定し、速見コーチの指導続行を訴えたことで、事態が一変しました。

暴力だけではない 自覚のないパワハラも体罰



体罰の原因は、指導者だけ？



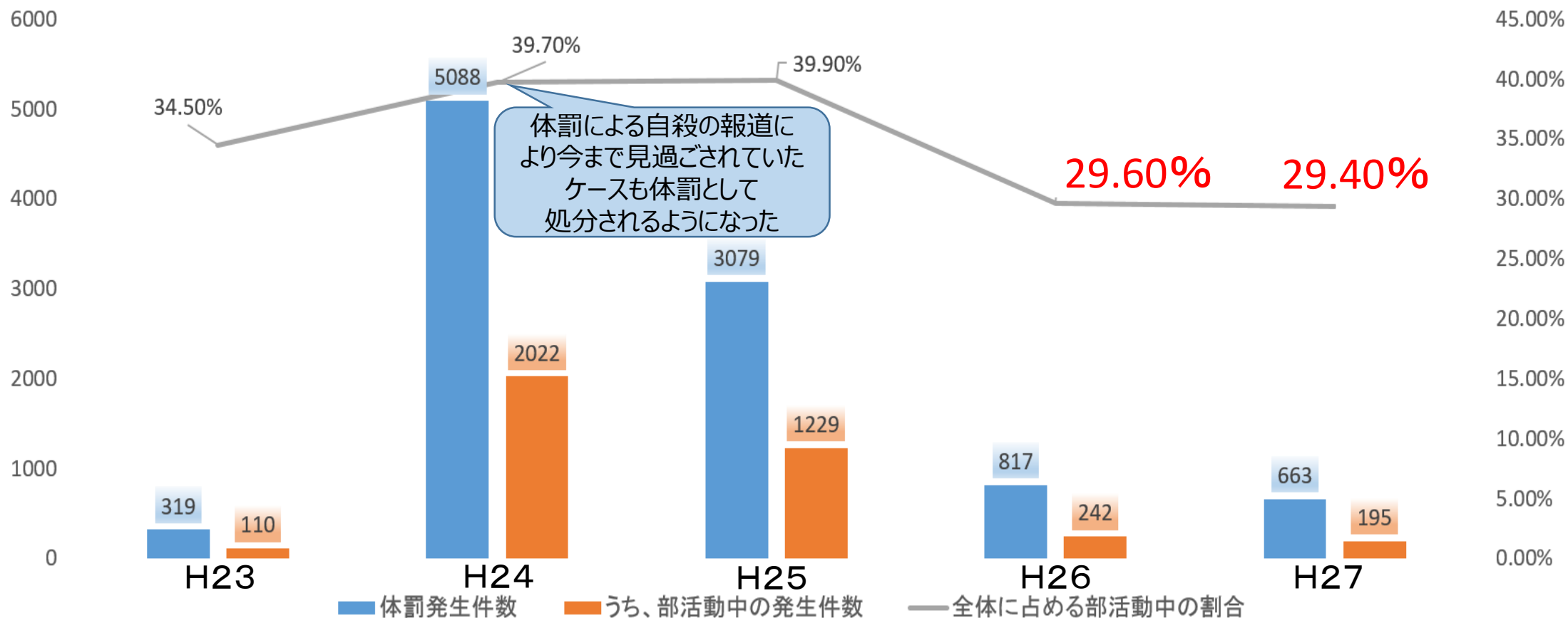


なぜ体罰は起きてしまうのか？



発生件数・率ともに減少、が依然3割近い発生率

中学校・高等学校における体罰発生件数及び全体に占める部活動の割合の推移





なぜ無くならないのか？

問題にできない環境

その原因は、

指導者への恐怖感

上下関係

日常化、当たり前のこと

①緒言 問題意識 ～体罰の起きるメカニズムの仮説



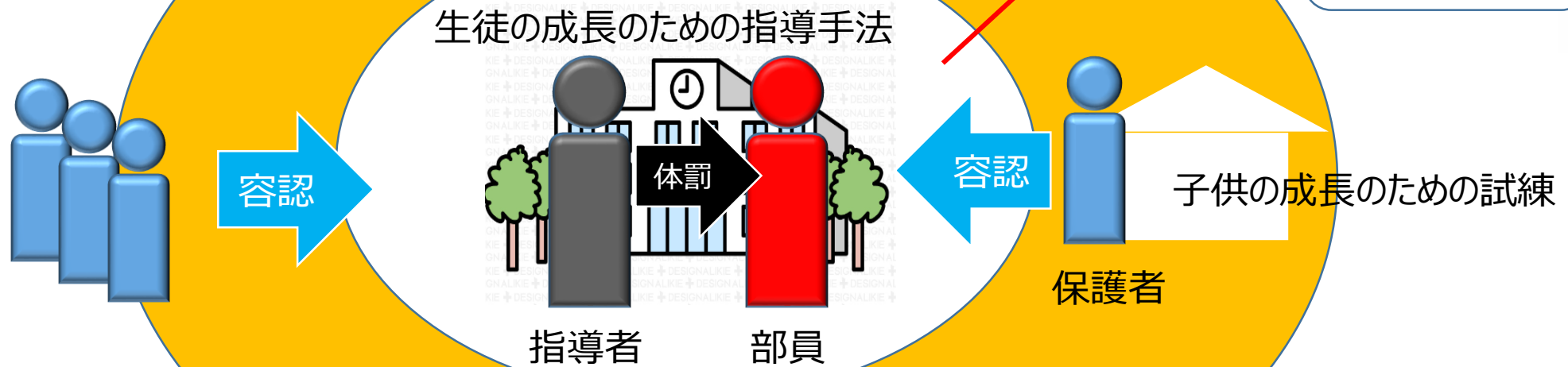
①環境（文化）要因

指導者だけでなく、みんなの心にある

日本社会

②指導方法の要因

体罰ではなく
指導の一環だ



厳しい環境での頑張りを美談化





②研究の方法・結果



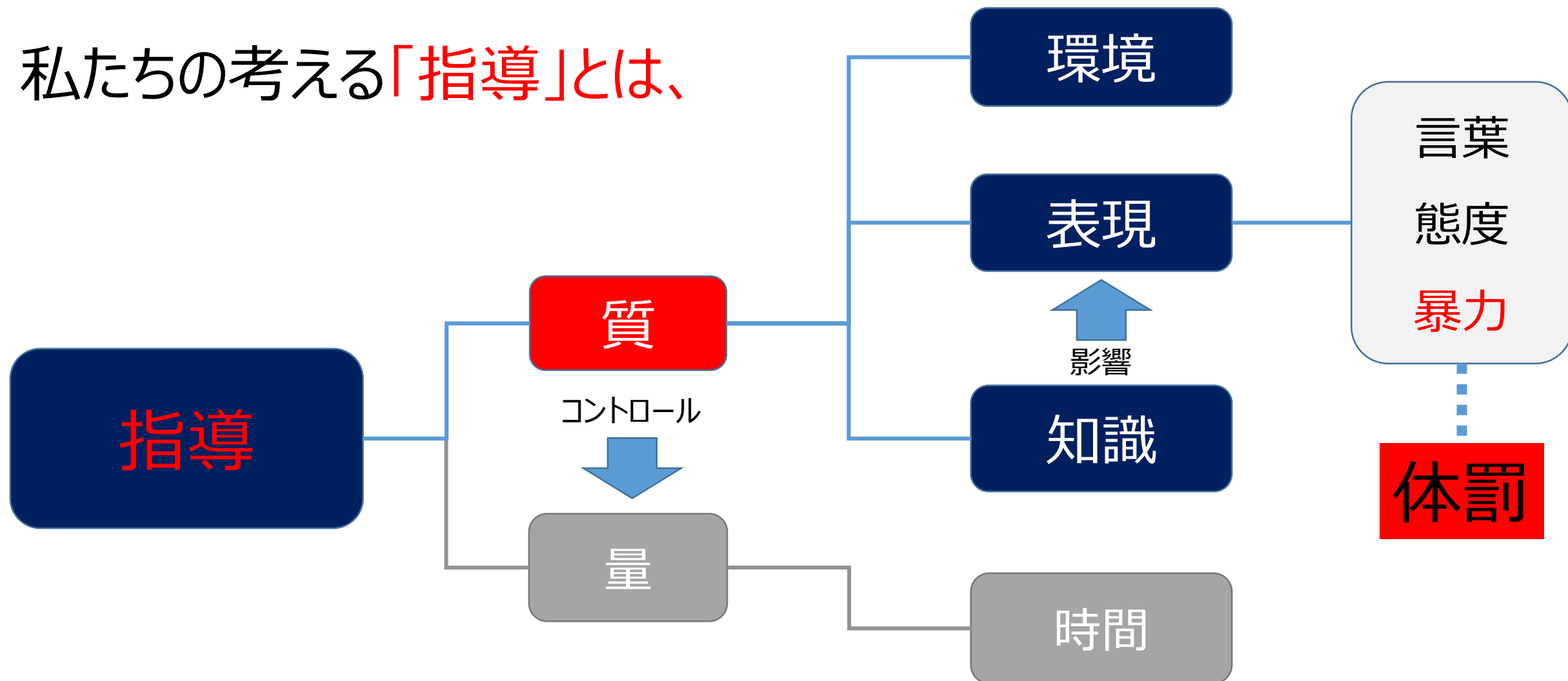
指導力のあるべき姿とは、

指導される側が
心身ともに成長できるように
指導できる力

②研究の方法・結果 ～課題の定義



私たちの考える「指導」とは、

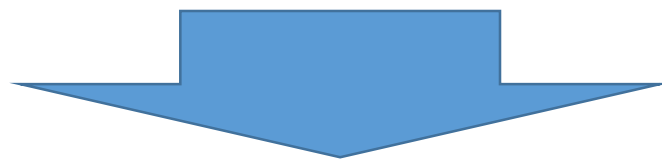




指導力の

「質」

問題



解決すべきは「指導の質」の改善



前 徳島県教育委員会教育長へのインタビュー調査

目的：教育委員会での取り組みの現状と体罰への考え方

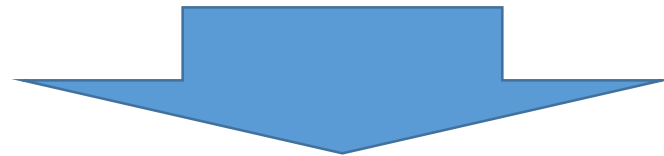
H25年度 京都府教育委員会 教職員アンケートの文献調査

目的：体罰に対する教職員の意識の確認



インタビュー調査の結果

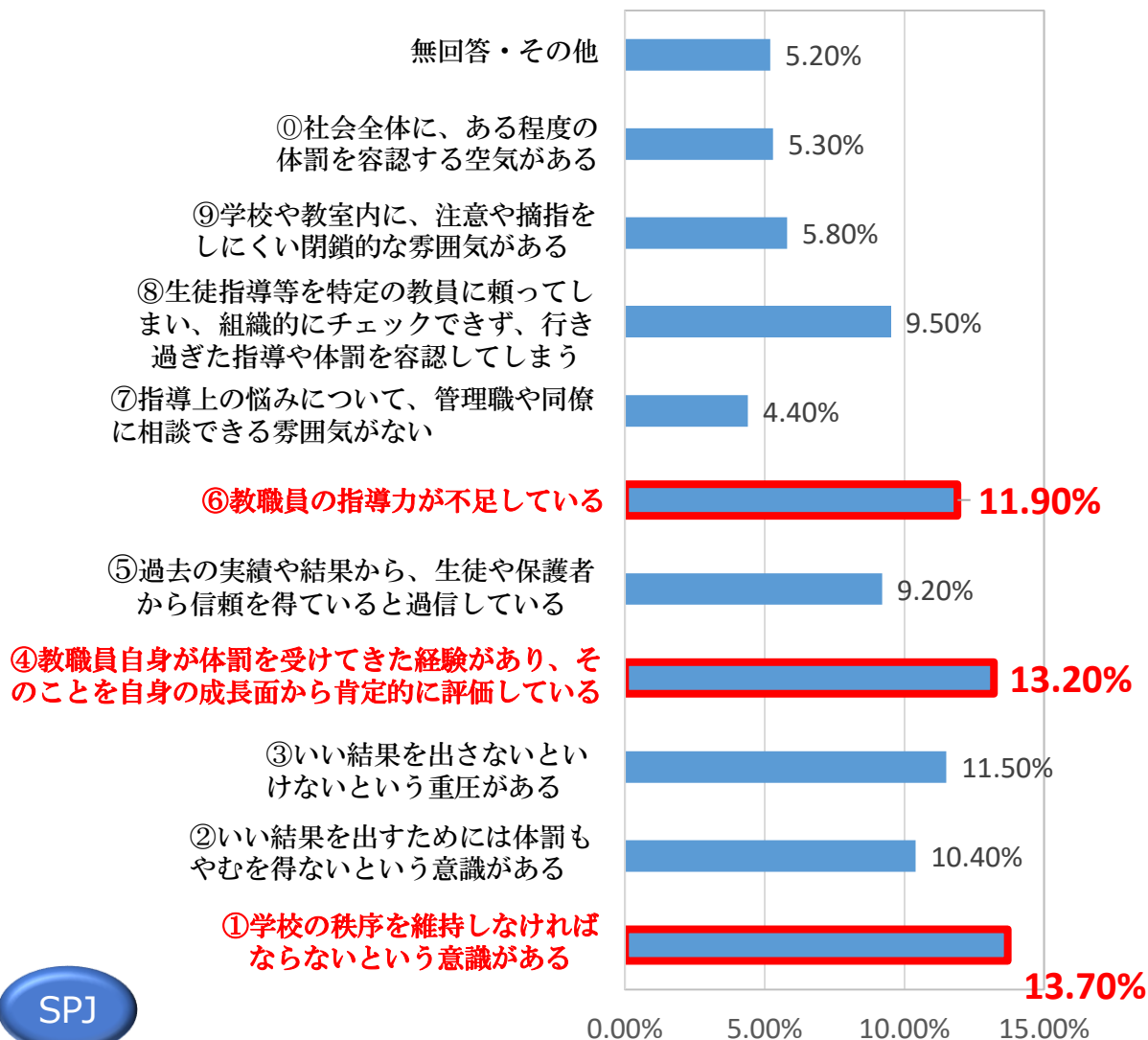
- ・日本特有の環境（文化）が影響している
- ・県で管理指導体制を試みたが、実現できず
- ・指導する者自身が、体罰を受けてきた世代が多い



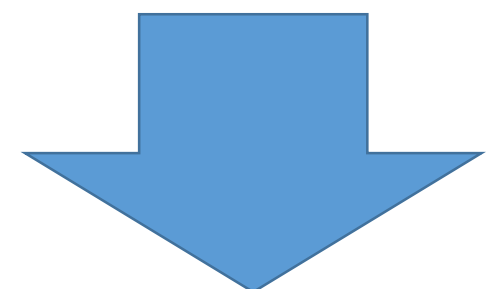
指導者だけの問題ではなく、日本の「環境の要因」も大きい



教職員が体罰を行う背景として考えられること



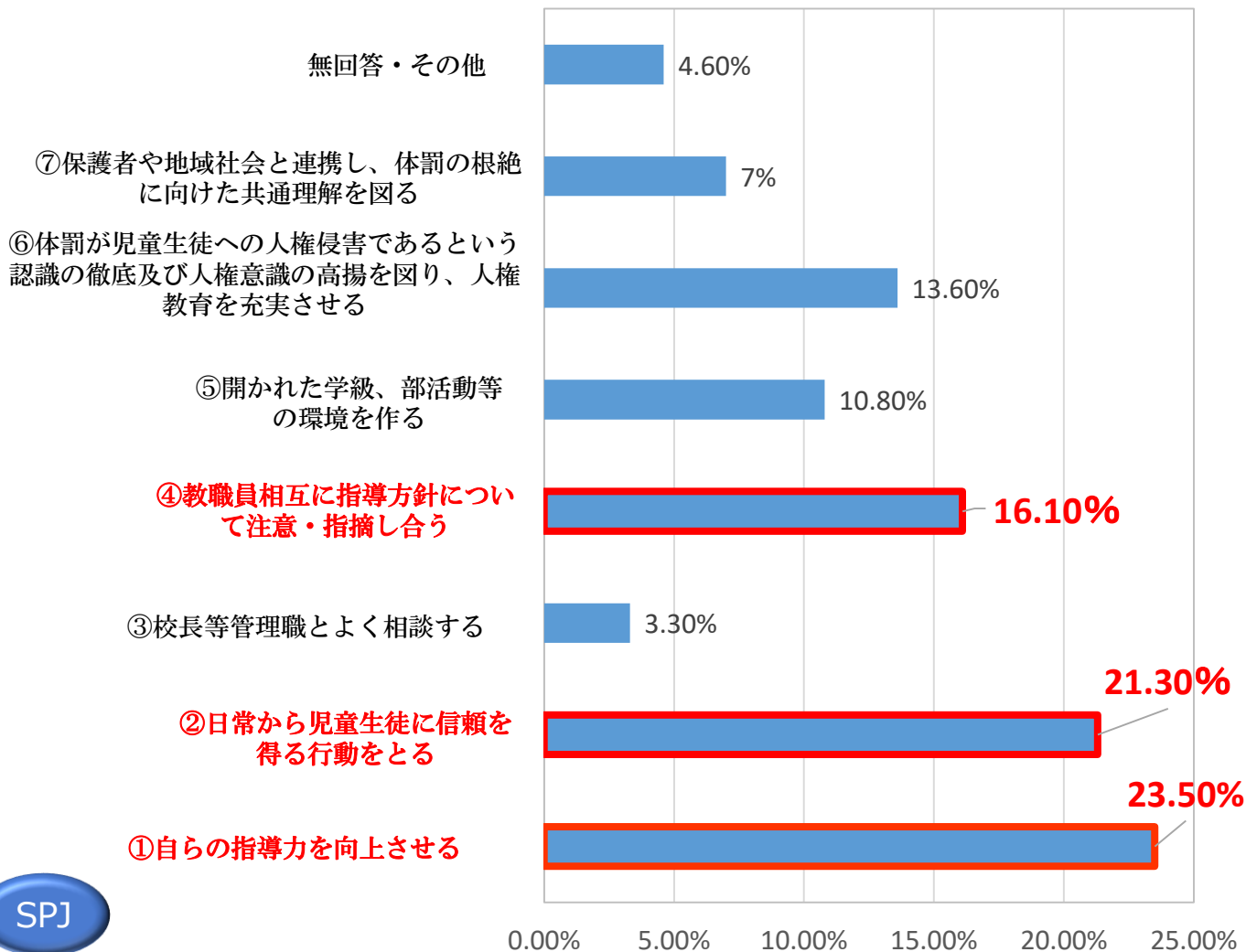
- ①学校の秩序を維持しなければならないという意識がある
- ④教職員自身が体罰を受けてきた経験があり、そのことを自身の成長面から肯定的に評価している
- ⑥教職員の指導力が不足している



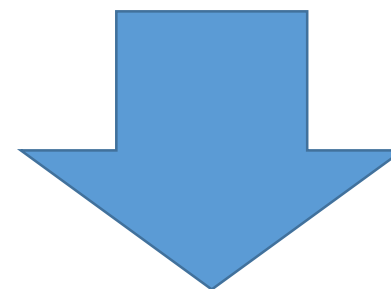
- ・秩序を守るという意識から体罰を行ってしまう
- ・指導力の低さや過去の経験から間違った考え方をしていることが体罰の背景と自覚



体罰の根絶に向け、教育員として必要な考えや行動



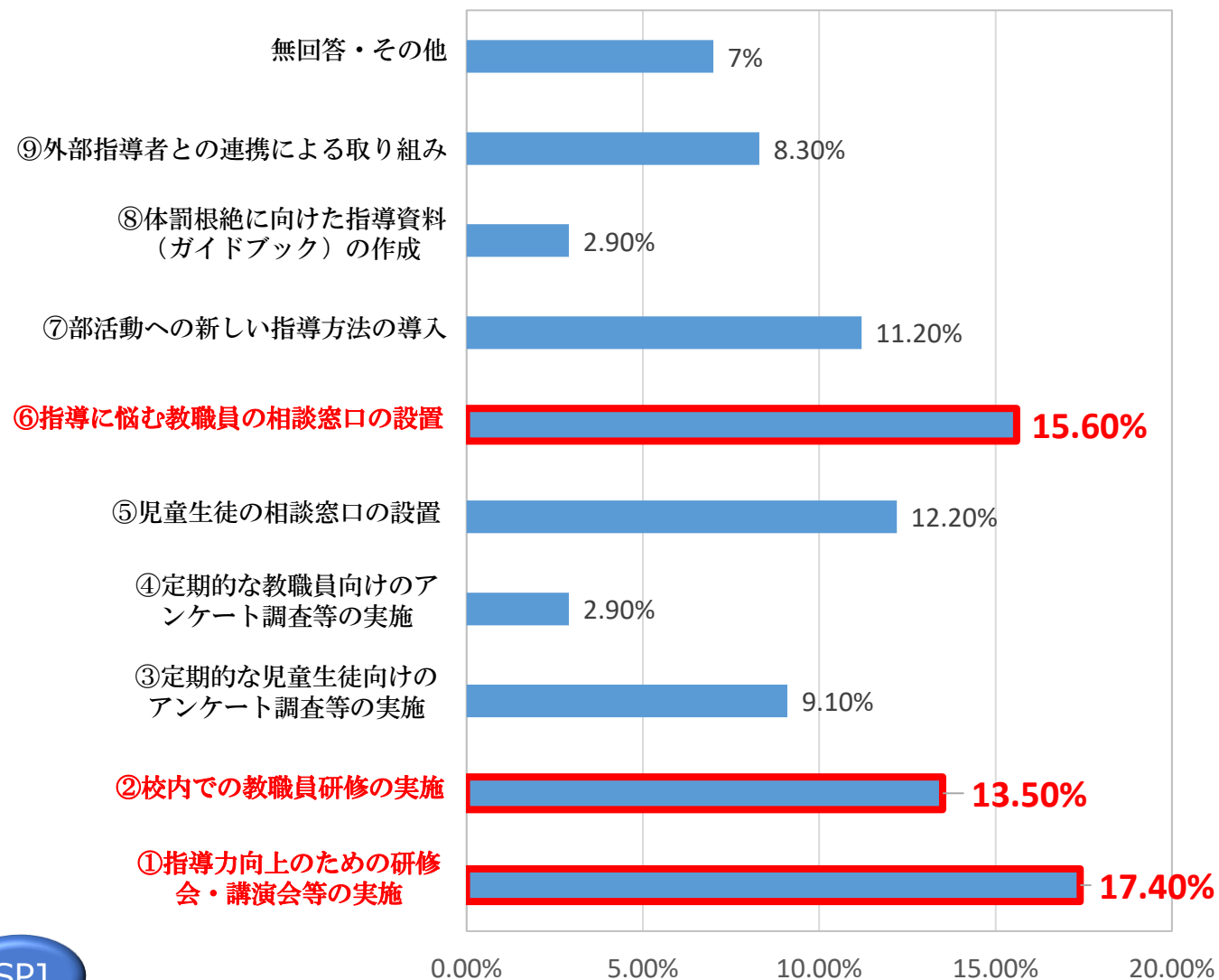
- ①自らの指導力を向上させる
- ②日常から児童生徒に信頼を得る行動をとる
- ④教職員相互に指導方針について注意・指摘し合う



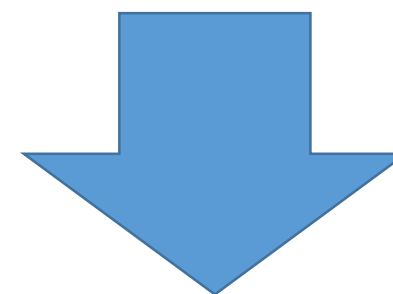
指導力の不足が体罰を引き起こす
原因という裏付け



体罰の根絶に向けた具体的な取り組み



- ①指導力向上のための研修会・講演会の実施
- ②校内での教職員研修の実施
- ⑥指導に悩む教職員の相談窓口の設置

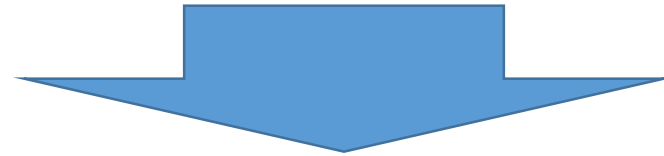


講演会や教職員研修など、
取り組み策を求めている



文献調査の結果

- ・教職員の指導力が不足していることを自覚
- ・教職員が、指導者の質を上げることの必要性を感じている
- ・研修会や講演会など、取り組み策を求めている

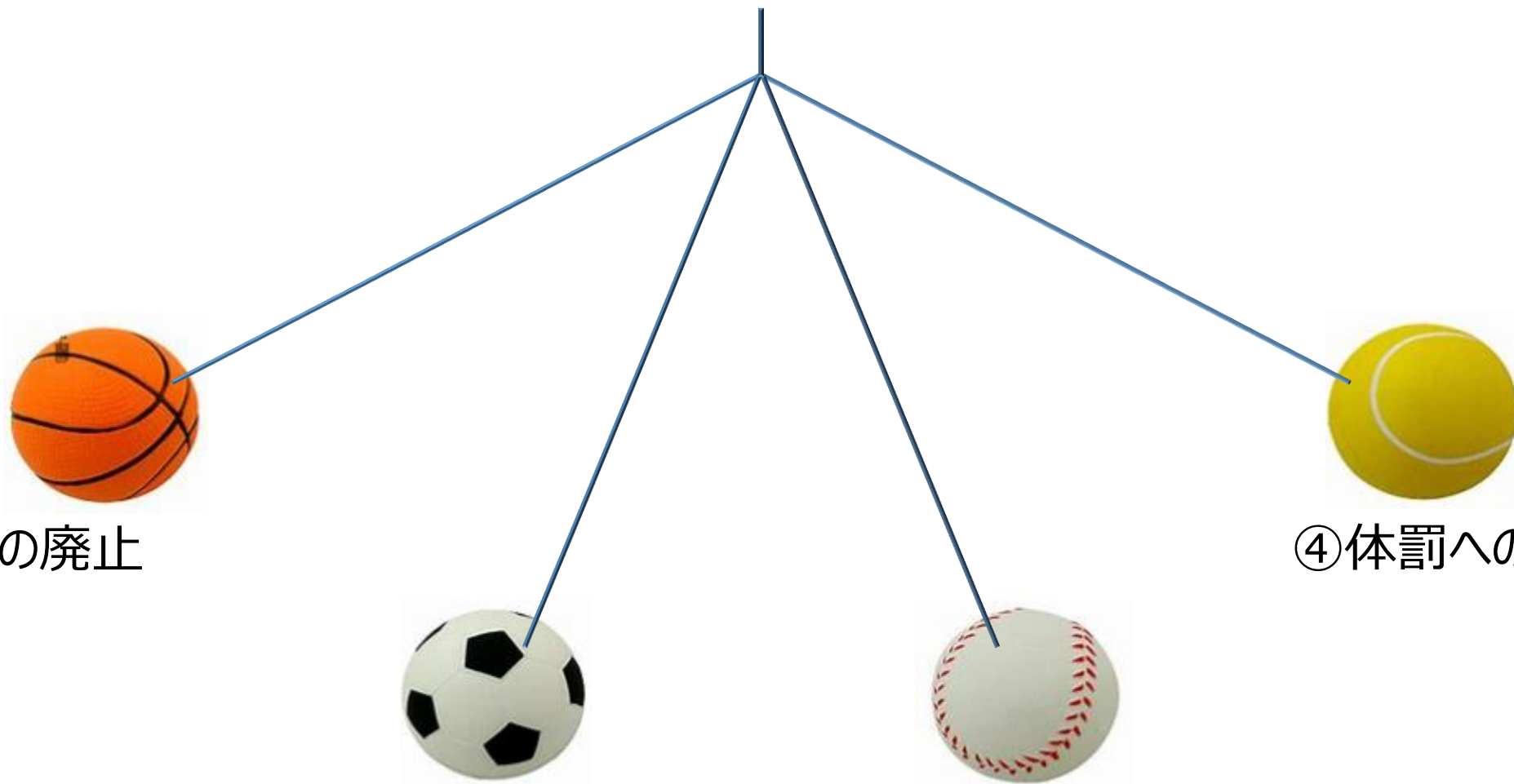


「指導の質」を向上させる新たな方法が、早急に必要



③ 提言

③提言 政策オプションの検証



①部活動の廃止

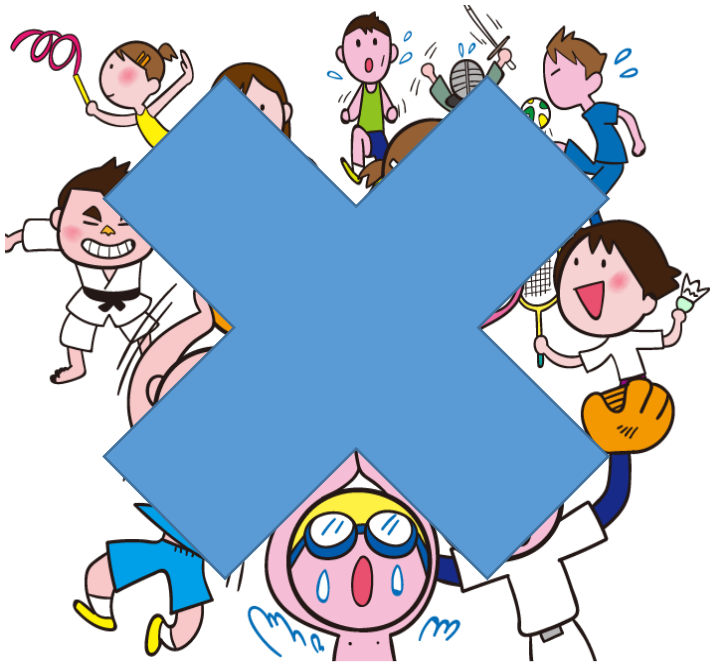
②指導者を育成する
教育機関（学校）の設立

③指導者を監督する
マネジメント組織の設置

④体罰への処罰の拡大



政策① 部活動の廃止



目的：部活動を無くすことにより、体罰自体を無くす

効果：部活動の廃止を行うことにより、体罰も無くなる

デメリット：学生のコミュニケーションの低下や
スポーツ離れを引き起こす可能性

評価：日本のスポーツや教育の低下が生じる可能性が
高く、かつ実現すべきではない



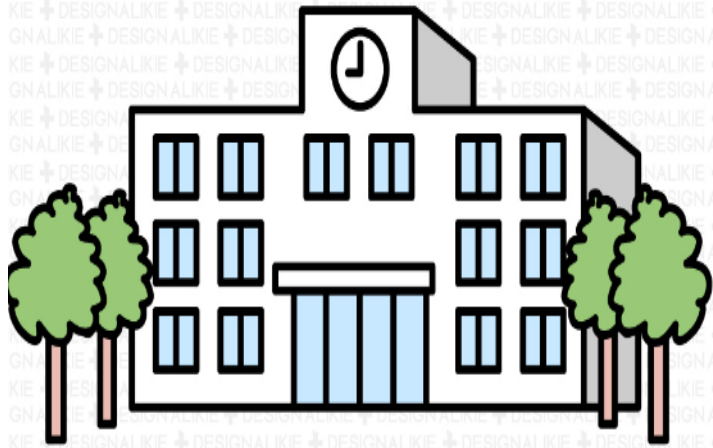
政策② 指導者を育成する教育機関（学校）の設立

目的：指導者育成を行い、正しい指導方法を伝える

効果：指導者の指導方法の改善、見直しが可能

デメリット：時間と大きな費用が必要

評価：指導者の質を上げることは可能であるが
コスト面を見ても実現のハードル高





政策③ 指導者を監督するマネジメント組織の設置



目的：指導者の監督を行い、現場での指導方法の改善

効果：指導者への指導を実施することにより、
体罰、強要を未然に防ぐことが可能

デメリット：管理されることへの抵抗感が生まれる可能性

評価：持続的に、指導力の安定が可能



政策④ 体罰への処罰の拡大



目的：罰則を厳罰にし、指導者に意識付けを行う

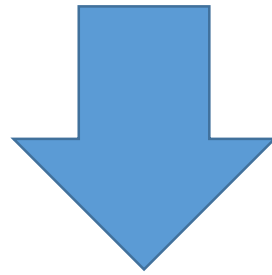
効果：体罰への指導者の意識が高まる

デメリット：指導者の指導が委縮してしまう可能性

評価：コストなども掛からず、即効性もあるものの
本質的、持続的な解決方法にはならない



指導の質の改善


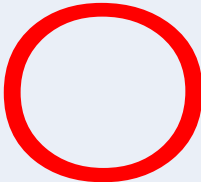


政策② 指導者を育成する教育機関（学校）の設立

政策③ 指導者を監督するマネジメント組織の設置



さらに、絞り込み検証の結果

	スピード感
政策② 指導者を育成する教育機関（学校）の設立	
政策③ 指導者を監督するマネジメント組織の設置	



指導者を監督、育成する マネジメント組織の設置



指導者のマネジメントとは、

目的

- ① 指導知識の伝授
- ② 指導状況監督
- ③ 効果の把握



組織体制 業務内容 業務フロー の具体的内容を立案

③提言 ～組織体制



徳島県教育委員会

事務局

教育政策課
コンプライアンス推進課
教育創生課 施設整備課
教職員課 福利厚生課
学校教育課 特別支援教育課
人権教育課(いじめ問題等対策室)
生涯学習課

教育文化課

体育学校安全課

エリアマネジメント
担当

コールセンター

各部 指導者

エリアマネジメント
担当者

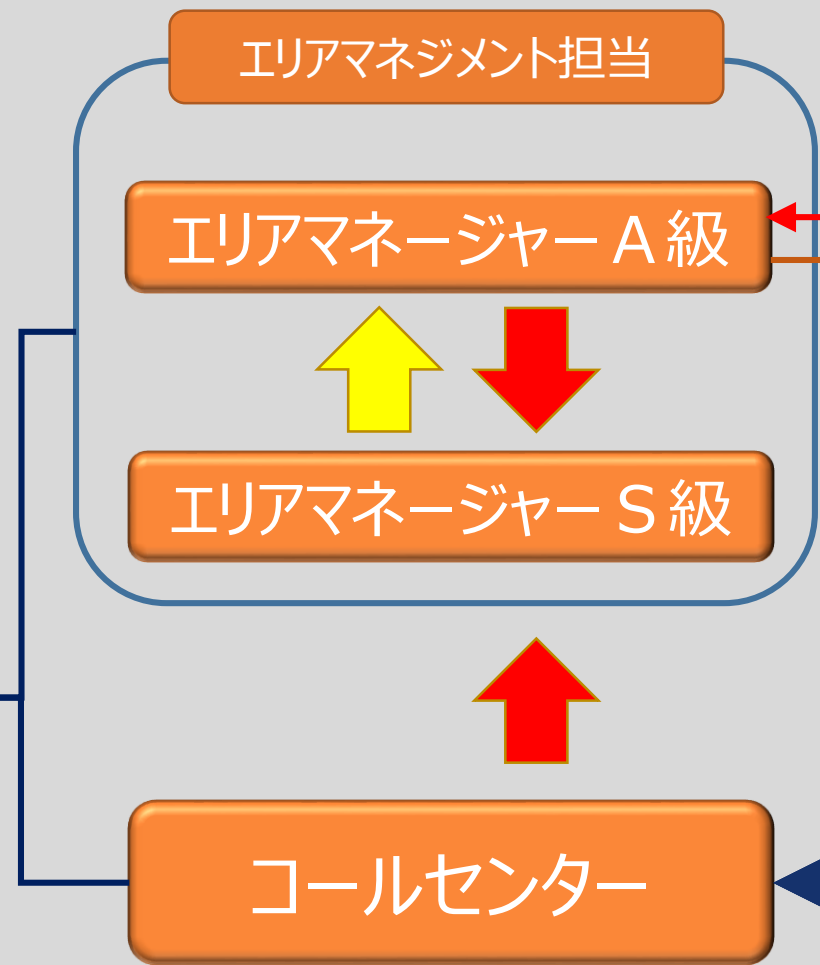
エリアでの体制

③提言 ～エリアマネジメントの業務フロー～



徳島県教育委員会

体育学校安全課



エリア



→指導監督 →指導 →報告 ↔相談

③提言 ～エリアマネージャーの主な業務



エリアマネージャーの業務	S級	A級	B級	C級
計画 P	指導計画の作成		指導計画の作成	
	<ul style="list-style-type: none"> ・期間（3か年、単年、半期）毎に目標を設定し、業務計画を立案ならびにサポート 			
巡視指導 D	研修、資格資料の作成			
	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネージャー各級、指導者各級の資格資料の作成を行う 			
報告 C	県内、A級の指導	エリアの主に大学を 巡視指導	エリアの高校を 巡視指導	エリアの小中学校を 巡視指導
	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の部活動を抜き打ち巡視し、注意する点があればその場で指導を行う 			
改善 A	指導者会議 の主催、運営	S級へ マネジメント報告	A級へマネジメント報告	
	<ul style="list-style-type: none"> ・担当校、担当エリアのマネジメントに関する業務報告を行う（報告ネット、会議） 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定や事故に対して、チームとして改善策を作成 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者会議、日々の指導レポート、コールセンター情報を分析し、改善策を立案指示 			



③提言 ～指導者の主な業務



指導者の業務	1級	2級	3級	4級
計画 P	指導計画の作成			
	・期間（3か年、単年、半期）毎に目標を設定し、業務計画をサポートを受け、立案			
部活指導 D	エリアの大学を 指導	エリアの高校を 指導	エリアの中学校を 指導	エリアの小学校を 指導
	指導計画に沿った、部活の指導を行う			
報告 C	各階級指導者がエリアマネージャーに指導内容を報告			
	計画に沿った実行や事故の発生について、レポートを定期的に作成 （エリアマネージャーにネット上で提出、関係者で共有）			
改善 A	指導計画に照らした指導の改善			
	エリアマネージャーと相談し、現状分析を行い、次に向け改善策を検討する			



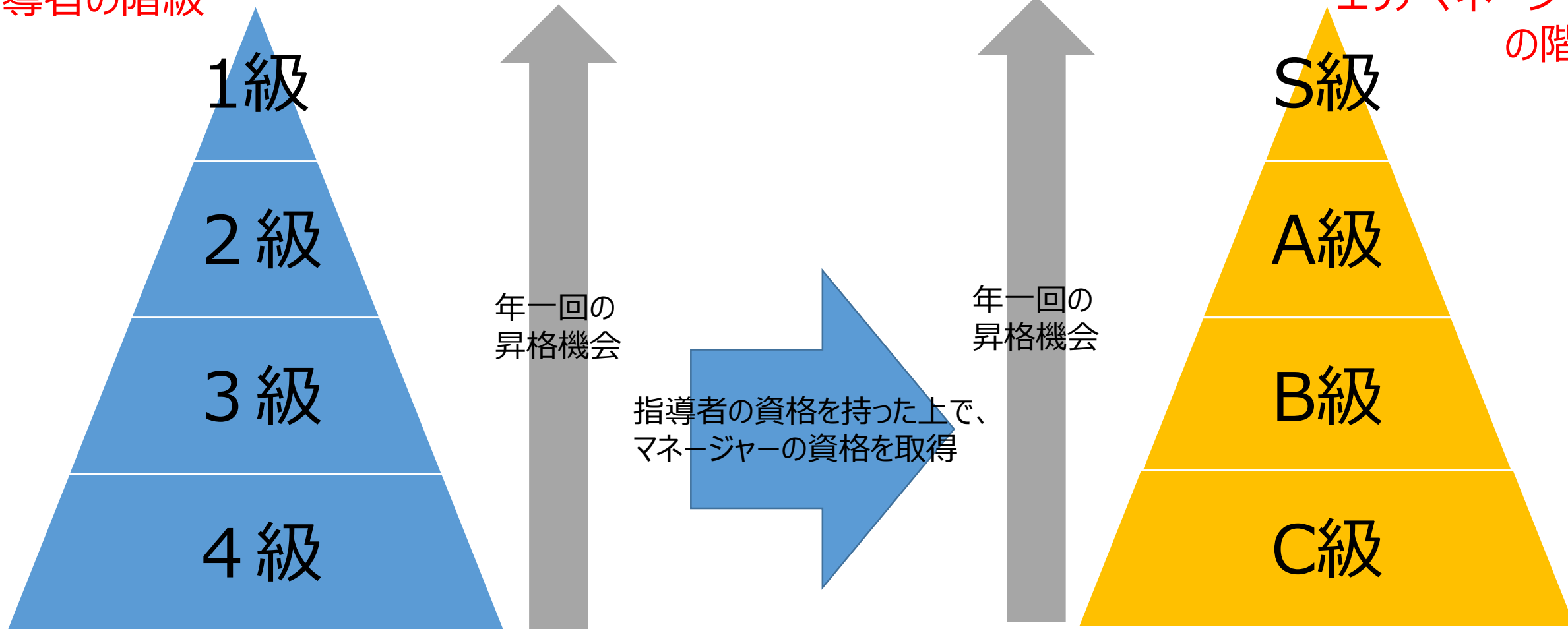
③提言 ～エリアマネージャー、指導者資格制度



サッカーの審判制度を範にして

指導者の階級

エリアマネージャーの階級



資格要件

+ マネジメント能力の適正

実績：賞罰やスポーツの指導歴、スポーツ外の経験など

筆記：知識、トラブルの対処、判断力、実技：怪我の対処、指導力



③提言 ～エリアマネージャーの配置計画

行政単位・地理的条件・学校数・生徒数を加味して、2大ブロックで配置を計画



エリアMG	S級		A級				B級		C級	
	指導者レベル		1級				2級		3級 4級	
学校数	数	数	大学	教育委員会設置単位	行政単位	数	高・高専・各種	数	中	小
徳島県教育委員会	1	2	8	徳島	徳島市	3	10	10	16	30
				徳島県・国	国立私立学校	2	7	2	3	3
		鳴門市		鳴門市	1	2	4	6	14	
		板野郡		松茂町・藍住町・板野町・上板町		1	6	6	18	
		名西郡		石井町・神山町	2	2	2	3	7	
		阿波市		阿波市		2	3	4	10	
		吉野川市		吉野川市	2	2	4	5	14	
		美馬市		美馬市		2	3	7	8	
		美馬郡		つるぎ町・東みよし町		1	2	2	4	
		三好市		三好市	1	-	1	1	1	
名東郡	佐那河内村	1	1	1		4				
勝浦郡	勝浦町・上勝町	2	2	2		11				
小松島市	小松島市	2	1	1		4	4			
那賀郡	那賀町		5	7		11	22			
阿南市	阿南市	2	3	6		7				
海部郡	美波町・牟岐町・海陽町									

徳島県教育委員会
学校安全指導部

8名の人材登用が必要



コールセンターでの主な業務

情報収集

体罰のみでなく部活全般の相談を
保護者や生徒、指導者から受ける

情報蓄積

得た情報をD B化し、関係者へ情報共有する

効果

日常的な情報や事件が、円滑に共有され
素早い対策や対処法が遂行される





期待される効果

直接的効果

- ・体罰の発生する「環境」の改善
- ・部員が安心して部活に
取り組めるようになる

付随的効果

- ・学校全体の体罰に対する
意識の変化
- ・学生スポーツ全体の
向上に繋がる

③提言 ～実現への懸念と、その打ち手



人材の確保は
どうするか？

- ・大学SP団体
へのリクルーティング
- ・ネットによる
常時募集

効果の把握が
難しい

- ・アンケートや
インタビューを
行い、仕組みを
整備する

指導者と
被指導者の関係

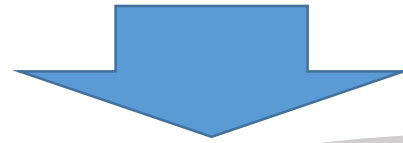
- ・指導者と
フラットな関係を
目指し、定期的な
交流の催しを開催



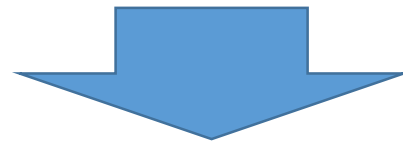
④まとめ



指導者を監督、育成するマネジメント組織の設置



指導の質を上げ、
部活動内での体罰を低減



学校、地域に波及効果を与えることにより、
これまでの日本の社会環境を変化させ、
日本の「これからのスポーツ」の向上に貢献したい



東洋経済オンラインニュース

<https://toyokeizai.net/articles/-/235814>

日本経済新聞ネット版

<https://r.nikkei.com/article/DGXMZO36729170Q8A021C1AC8000?s=1>

文部科学省 基本調査 日本中学校体育連盟

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/detail/1293136.htm

平成25年4月京都府教育委員会 体罰に関する意識調査

http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-be/cms/?action=common_download_main&upload_id=2292



ご清聴

ありがとうございました